

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク
第6回 会員総会

議案・資料集

2014年6月23日（月）

（14：30～16：00）

町田市民フォーラム 4階 行政会議室

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

第6回 会員総会

第1号議案

2013年度 事業報告書（案）

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

2013年度町田市介護人材開発センター事業実績報告書（案）

1. 総括

(1) 2013年度は、町田市介護人材開発センター（以下、センター）事業の3年目にあたり事業の充実を図った。会員からの認知度の上がり、サービス利用も増加した。また介護保険事業所の特性や要望に対応して会員拡大を図った。

(2) 人材発掘事業は、昨今の介護職等に確保は依然厳しい状況を踏まえ、ハローワーク町田との共同面接会については参加法人を増やす等充実を図った。また町田市社協、町田商工会議所との合同就職面接会を継続し、採用機会の確保に努めた。学生向けの就活フェアを実施し、次世代を担う人材の確保に努めた。

(3) 人材育成事業は、基礎研修とリーダー養成研修を柱に実施した。基礎研修では、職業人としての接遇・マナーから介護職等として最低限習得すべき知識・技能の習得を目標に行った。相談援助職研修では、ソーシャルワーカーとしての基礎知識の習得、コミュニケーション技法、面接技法の習得を目標に行った。また指導職・リーダー養成研修では、介護過程リーダー養成、スーパーバイザー養成、介護支援専門員向け研修を行った。またキャリアパスへの対応として、介護福祉士受験対策講座、認知症ケア専門士、アクティビティ・サービス等認定資格に対応した研修を行った。

保険者との共催研修では、事業種別の法令遵守研修、虐待対応研修、ケアプラン研修などを実施し、事業所及び専門職の向上に努めた。

(4) 就労定着支援事業は、介護職等の離職原因である対人関係の改善に資するよう、セルフケアとしてメンタルヘルス研修と、非常勤職員や高齢者雇用などへの法改正に対応した適正な雇用契約による定着支援に努めた。

(5) ネットワーク促進事業は、事業所間や専門職間の連携の促進に努めた。町田市通所事業所連絡会設立支援を行った。地域包括ケア体制に向けた、医療・介護・福祉等の多職種連携のネットワーク形成やまちづくり形成に関わった。

2. 事業実施内容

〈対象・階層区分〉

☆…学生 ※…市民 職員…★（Ⅰ…新任職員 Ⅱ…中堅・リーダー職員
Ⅲ…専門職種 Ⅳ…管理者）

参加者人数＝延べ人数

<人材発掘事業>

(1) ハローワーク町田共同面接会 全10回 (※)

日 時：4/17、5/15、6/19、7/17、10/23、11/20、12/18、1/15、2/19、3/19

いずれも水曜日 9：30～12：00

会 場：ハローワーク町田 2階 会議室

対 象：市民等求職者

内 容：ハローワーク町田との共催により、各回参加6法人による説明、面接・相談を10回開催した。

人 数：参加者237名 就職者31名

(2) 地域密着型合同面接会「福祉のしごと相談会」 (※)

日 時：8月7日(水) 12:00~16:00

会 場：町田市文化交流センター 5階 けやき

対 象：町田市内の福祉職場での就職を希望する求職者

内 容：町田市社会福祉協議会・町田市・ハローワーク町田・東京都福祉人材センター共催に協力。第1部の「福祉のしごとに関する説明会」において、高齢者福祉の仕事内容や職種、資格について説明し、相談コーナーを設置し相談対応、面接会の運営に協力した。

人 数：参加者152名

(3) 福祉ワーク就職面接会 (※)

日 時：9月4日(水) 13:00~16:00

会 場：町田商工会議所 2階 会議室

対 象：町田市内の福祉職場での就職を希望する求職者

内 容：町田商工会議所主催、町田市・ハローワーク町田とともに後援。相談コーナーを設置し相談対応、面接会の運営に協力した。(参加法人10社)

人 数：参加者16名 就職者2名

(4) 学生向け介護・福祉のしごと就活フェア 2回 (☆)

【第1回】

日 時：5月11日(土) 12:30~16:30

会 場：町田市文化交流センター 5階 けやき

対 象：介護福祉職を目指す東京都、近隣県内の学生(高校、専門学校、大学)

内 容：東京都福祉人材センターとの共催。現場職員との交流、相談コーナー、法人担当者による相談・面接等を行い、フェア終了後に施設見学会実施した。(参加法人11社)

人 数：52名

【第2回】

日 時：11月30日(土) 12:30~16:30

会 場：町田市文化交流センター 6階 ホール

対 象：介護福祉職を目指す東京都、近隣県内の学生(高校、専門学校、大学)

内 容：東京都福祉人材センターとの共催。現場職員との交流、法人担当者による相談・面接等を行った。参加法人13社

人 数：18名

(5) 市民向け介護(生活支援)技術講習会・基礎編 4回 (※・☆・I)

日 時：6/8、7/6、9/7、10/5 いずれも土曜日 13:00~17:00

会 場：社会福祉法人七五三会 いづみの里 デイサービスルーム

対 象：町田市民で家族介護をされている方、介護職への就労を希望している又は関心のある方、学生、市内介護保険事業所職員

講 師：東京都介護福祉士会町田ブロック会会員

内 容：「移動・食事」、「排泄・清潔」等の基礎介護の技能の習得、「認知症の理解」について講義、実技演習を行い、講習会後に相談コーナーにて就労希望者等への個別相談を行った。

人 数：139名

(6) 介護初步講習会（介護・福祉のしごとガイダンス） 2回 （※）

日 時：6月5日（水）、10月21日（月） 13：30～15：30

会 場：ハローワーク町田 2階 会議室

対 象：市民等求職者、介護の仕事に関心のある方

講 師：谷和久氏（ commons）、彌晴美氏（ぬくもりの園）、鶴田尚子氏（まちだケアセンター）

内 容：介護現場の魅力（特養、グループホーム、デイサービスなど）の紹介、資格等のガイダンス、相談対応を行った。

人 数：24名

(7) ようこそ先輩 特別授業 3校 （☆）

日 時：①11月5日（月） ②11月18日（月） ③11月20日（水）

授業時間（90分）

会 場：①東京都立野津田高等学校 ②町田福祉保育専門学校 ③桜美林大学

対 象：福祉養成校在学学生

講 師：①上田勉氏（社会福祉法人賛育会） ②今井晶善氏（社会福祉法人南町田ちいろば会）

③藤島大三氏（社会福祉法人福音会）

内 容：現任介護職員による感動体験エピソードを紹介し、個人ワーク、グループワークを通して高齢者福祉の仕事への理解を深める授業を行った。

人 数：139名（①66名 ②29名 ③44名）

(8) 施設見学会 1回 （☆）

(1) 学生向け施設見学会 1回（3コース）

日 時：①5月29日（水） ②6月5日（水） ③6月6日（木） 各施設30分程度

会 場：①社会福祉法人町田市福祉サービス協会（commons）、社会福祉法人福音会（ケアセンター木曾山崎・福音の家）

②社会福祉法人芙蓉会（芙蓉園）、社会福祉法人南町田ちいろば会（みぎわホーム）、社会福祉法人正吉福祉会（まちだ正吉苑）、社会福祉法人七五三会（いづみの里）

③社会福祉法人竹清会（美郷・花美郷）、菱明ロイヤルライフ株式会社（ロイヤルライフ多摩）、社会福祉法人嘉祥会（ぬくもりの園）、医療法人社団久和会（マイライフ尾根道）

対 象：学生向け介護・福祉のしごと就活フェア第1回目参加学生

内 容：3コースに分けて、各施設30分程度の見学会を行った。

人 数：9名

(10) 町田市内高校向け就職ガイダンス 1回

日 時：4月19日（金） 11：00～12：00

会 場：ハローワーク町田 2階 会議室

対 象：就職希望生徒の在学する町田市内高等学校の進路指導・就職担当教員

内 容：就職希望生徒の在学する町田市内高等学校の進路指導・就職担当教員（9校）に介護の仕事の魅力（社会福祉法人竹清会・坂田氏哲）、待遇、資格（社会福祉法人合掌苑・杉本靖氏）とその助成制度（アルファ医療福祉専門学校・西田忠和氏）等の説明会を行った。

人 数：9名

(11) 求人情報の提供

内 容：センターホームページ内の会員ページに、会員法人一覧を掲載し、会員法人ホームページにリンクすることで、会員法人の求人情報サイト（職員募集ページ）にリンクできるようにした。

(13) 実態把握

【就職状況調査】

実施時期：7～8月

対 象：町田市市内介護福祉養成校6校（町田福祉保育専門学校、アルファ医療福祉専門学校、東京都立野津田高等学校、法政大学（現代福祉学部）、東京家政学院（現代生活学部）、桜美林大学（健康福祉学群）

内 容：施設の種別ごとに市内・市外施設等への就職、町田市内の介護施設に就職した卒業生の職種別の実態調査を行った。

【町田市市内介護職員初任者研修開講状況の案内】

実施時期：通年

内 容：町田市市内で開講される介護職員初任者研修の情報を市役所、ホームページを通して市民に提供した。

(14) 就労相談（※・☆）

実施時期：各人材発掘事業の開催に合わせて行う。

対 象：人材発掘事業参加者及びセンター来訪者（介護への就労に関心のある市民）

内 容：東京都介護福祉士会町田ブロック会、町田社会福祉士会の協力を得、人材発掘事業の際に相談コーナーを設置した。また、センターに相談に訪れる市民に資格や市内施設等の情報提供を行った。

<人材育成事業>

(1) 新任職員・リフレッシュ研修 4回（I）

日 時：①4月22日 ②7月22日 ③10月7日 ④1月20日

いずれも月曜日 10：00～17：00

会 場：①社会福祉法人芙蓉会 ②③市民フォーラム ④市民フォーラム・町田商工会議所

講 師：佐々木宰氏（大妻女子大学） 大貫祐子氏（元介護福祉専門学校講師）

富田静江氏（元日本航空株式会社客室乗務員・新人教育担当）

対 象：新任職員（新卒者、職歴2年以内の者） 中途採用者他

内 容：社会人としてまた介護事業所職員として必要とされる接遇・マナーの基本、リスク管理などの基本知識を身につける講義と演習と行った。

人 数：86名（①30名 ②22名 ③20名 ④14名）

(2) 介護過程研修・リーダー養成講座 全4回（II）

日 時：①5月20日 ②7月8日 ③9月9日 ④11月13日

いずれも月曜日 10：00～17：00

会 場：①～③社会福祉法人福音会 ④町田市文化交流センター

対 象：リーダー層、介護職員で法人・事業所から推薦された方職員

講 師：佐藤富士子氏（大妻女子大学 教授）、是枝祥子氏（大妻女子大学 名誉教授）

内 容：①「介護過程」・アセスメント～利用者ニーズの視点・利用者のニーズ把握 ②介護課題の明確化・介護プログラムとプランニング ③チームケアの条件～リーダーシップの視点と持ち方 ④介護過程の指導のポイント・OJT～個別指導のあり方 ⑤介護過程の4要素（DRIPドリッ）、D (dignity) R (risk)、I (independence) P (physical) を学び、3 グループに分かれそれぞれ課題を設定し研究を行った。⑥のアクティブ福祉 in 町田でグループ研究の成果を発表し、審査員賞を受賞した。

人 数：参加者 25 名、延べ 92 名 (①25 名 ②23 名 ③21 名 ④23 名)

(3) 認知症研修 (I・II・III)

a. 地域型基礎研修「センター方式を知ろう」 全2回

日 時：①1月27日(月) ②3月4日(火) 10:00～16:00

会 場：市民フォーラム 3・4階 視聴堂室・行政会議室

対 象：認知症ケアに携わる職員、認知症ケア専門士

講 師：小森由美子氏(認知症介護研究・研修東京センター客員研究員・認知症ケア地域推進員)

内 容：地域の多様な職種・立場の人が一緒に学び、認知症の本人を理解することの大切さとそのための視点(見方)、支援のあり方についてセンター方式を通して学び、個人・グループ演習で理解を深めた。

人 数：参加者 13 名、延べ 24 名 (①11 名 ②13 名)

b. 事例検討「認知症の疑いから受診まで」 (II・III)

日 時：12月19日(木) 18:00～21:00

会 場：町田商工会議所 2階 会議室

対 象：認知症ケアに携わる職員、認知症ケア専門士

講 師：本間昭氏(認知症介護研究・研修東京センター センター長)

内 容：講義で認知症高齢者に対する施策の動向、現状を学び、参加者の事例を元にグループワークを行い、認知症に対する家族の理解から早期受診までの支援プロセスを学んだ。

人 数：44 名

c. リアリティ・オリエンテーションと回想法 (I・II・III)

日 時：6月14日(金) 10:00～17:00

会 場：アルファ医療福祉専門学校

対 象：認知症ケアに携わる職員、認知症ケア専門士

講 師：野村豊子氏(東洋大学 ライフデザイン学部 教授)

内 容：リアリティ・オリエンテーションの考え方と認知症ケアに役立つ回想法の手法、グループ療法について、講義とグループワークを通して学んだ。

テキストに「Q&Aでわかる回想法ハンドブック～「よい聴き手」であり続けるために～」を使用。

人 数：26 名

(4) 相談員研修 (I・II・III)

a. スーパービジョン基礎講座 I. コミュニケーション技法 全3回

日 時：①8月27日 ②9月17日 ③10月22日

いずれも火曜日 18:30～20:30

会 場：市民フォーラム 4階 行政会議室

対 象：相談員、介護支援専門員、管理職、面談を実施する中で悩みや不安のある方等スーパー

ビジョンに関心のある方

講師：丹野真紀子氏（大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科 教授）

内容：①スーパービジョンとは（理論的枠組みの確認） ②援助の基礎 ③自分自身の支援を振り返り ④コミュニケーションの意味 を講義と演習を通して学んだ。

人数：参加者11名、延べ33名（①11名 ②11名 ③11名）

b. スーパービジョン基礎講座 II. 面接技法 全3回

日時：①12月17日 ②1月28日 ③2月25日

いずれも火曜日 18:30~20:30（③のみ21:00まで）

会場：市民フォーラム 4階 行政会議室

対象：相談員、介護支援専門員、管理職、面談を実施する中で悩みや不安のある方等スーパービジョンに関心のある方

講師：丹野真紀子氏（大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科 教授）

内容：①実践の基礎となるコミュニケーション力を確認する ②スーパーバイザーの役割 ③かわり行動と効果的質問 ④インシデントの提示を通じた事実収集と問題設定 ⑤事例検討 を講義と演習を通して学んだ。

人数：参加者13名 延べ36名（①12名 ②13名 ③11名）

c. 認知症ライフサポートモデル研修（認知症ケアに関する多職種研修）

日時：①1月19日（日）10:00~17:00 ②1月26日（日）13:00~17:00

会場：市役所本庁舎 会議室

対象：医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師・高齢者支援センター職員・介護支援専門員等

講師：宮島渡氏（社会福祉法人恵仁福祉協会 常務理事 総合施設長）

内容：町田市高齢者福祉課・町田市医師会主催。当日の運営に協力した。1日目はファシリテーター役を担う方を中心としたファシリテータ養成モデル研修を行い、2日目はファシリテーター役を担う方と認知症ケアに携わる専門職との認知症ライフサポート研修（通常版）を行った。

人数：45名

d. 看取り「平穏死のすすめ」（施設部会生活相談員連絡会研修）

日時：2月7日（金）18:30~20:30

会場：町田市健康福祉会館 4階 講習室

対象：町田市内介護保険事業所職員、関係機関に関心のある方

講師：石飛幸三氏（社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団 世田谷区立特別養護老人ホーム芦花ホーム 医師）

内容：施設部会生活相談員連絡会との共催。芦花ホームの看取りについて、その経緯、数多くの課題への取り組み、現状等を実例の講義を通して学んだ。

人数：88名

(5) 相談援助研修（ケアマネジャー研修）全5回（II・III）

日時：①5月24日（金） ②6月21日（金） ③7月30日（水） ④9月27日（金）

⑤10月25日（金） 18:30~20:30

会場：町田市健康福祉会館 4階 講習室

対象：生活相談員、主任介護支援専門員、介護支援専門員、支援センター職員

講師：堀越由紀子氏（東海大学 健康科学部社会福祉学科 教授）

内 容：町田市主任介護支援専門員の推薦要件の1つに位置付けられた研修として2年度目の開催。「援助者としての‘癖’に気づいて力量と視野を広げよう」をテーマに基本的なアプローチ理論を学びながら、援助者としての視点とアプローチの‘癖’に気づき、相談・面接場面での適切な援助関係の構築、相談援助過程の根拠を講義の他、グループ演習・検討、ロールプレイ等を通して学んだ。

人 数：参加者71名、延べ291名 (①67名 ②60名 ③56名 ④55名 ⑤53名)

(6) 高齢者支援センター・虐待予防研修 (Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)

日 時：1月20日(月) 18:30~20:30

会 場：町田市健康福祉会館 4階 講習室

対 象：高齢者支援センター職員、町田市担当職員

講 師：川端伸子氏(公益社団法人あい権利擁護支援ネット 理事)

内 容：高齢者虐待のとりえ方、虐待対応の支援の考え方、初期対応のポイントについて事例、講義を通して学んだ。

人 数：50名

(7) 経営研修 (Ⅳ)

日 時：1月9日(木) 15:00~17:00

会 場：アルファ医療福祉専門学校

対 象：経営者、管理者、それに準ずる職員

講 師：西田 忠康氏(学校法人西田学園 アルファ医療福祉専門学校理事
サイコム・ブレインズ株式会社 代表取締役社長)

内 容：「介護施設におけるサクセッション・プランニング(後継者育成)」をテーマに、①介護施策の抱える経営課題 ②サクセッション・プランニングの必要性 ③候補者の選定、仕事の棚卸、コンピテンシー作成、評価と能力開発計画 ④アルファ医療福祉専門学校介護福祉士の「組織・経営リーダーシップ論」の概要 ⑤事業戦略とキャリア戦略 を講義と演習を通して学んだ。

人 数：13名

(8) 法改正・法令順守研修 3回 (Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)

日 時：①6月11日(火) ②10月16日(水) 2月13日(木) 18:30~20:30

会 場：①②③町田市健康福祉会館 4階 講習室

対 象：①居宅・福祉用具貸与販売事業所職員 ②居宅・訪問介護事業所職員
③通所事業所職員

講 師：沼田裕樹氏(元東京都福祉保健財団・調査員)、町田市介護保険課

内 容：町田市介護保険課との共催

①町田市介護保険課からの行政報告、「ケアプランと福祉用具計画の連携~これからの介護保険制度を踏まえて~」をテーマとした基調講演と意見交換を行った。

②町田市介護保険課からの行政報告、「法令を踏まえた訪問介護事業所の運営~できることから始める書類の作り方、保存の仕方~」をテーマとした基調講演と意見交換を行った。

③町田市集団指導、「制度から求められる支援の方向性と、サービスの質について考える」をテーマとした基調講演とロールプレイを用いた意見交換を行った。

人 数：320名 (①107名 ②117名 ③96名)

(9) 介護福祉士国家試験受験対策直前講座・筆記編 (I)

日 時：12月7日(土) 13:30~17:30

会 場：町田市民フォーラム 3階 町田市男女平等推進センター活動室

対 象：介護福祉士国家試験の受験を予定されている方

講 師：是枝祥子氏(大妻女子大学名誉教授 元東京都介護福祉士会会長)

内 容：受験勉強事前の振り返り、科目ごとの内容の把握、出題基準の確認を行った。

人 数：20名、うち報告のあった合格者4名

(10) 介護福祉士国家試験受験対策直前講座・実技編 (I)

日 時：2月22日(土) 18:00~21:00

会 場：社会福祉法人芙蓉会 総合福祉ホーム芙蓉園 5階 機能訓練室

対 象：介護福祉士国家試験実技試験の合格をめざしている方

講 師：東京都介護福祉士会町田ブロック会会員

内 容：介護福祉士国家試験実技試験に必要とされる実技の確認及び実習、本番形式での模擬テストを実施した。

人 数：18名、うち報告のあった合格者3名

(11) アクティビティ・サービス基礎研修 全3回 (I・II)

日 時：①5月25日 ②6月22日 ③7月13日 いずれも土曜日 13:30~16:30

会 場：①社会福祉法人福音会 会議室

②③社会福祉法人七五三会 いづみの里 5階 デイルーム

対 象：中堅層、他

講 師：浦尾和江氏(田園調布学園大学 人間福祉学部 社会福祉学科 教授)

内 容：①利用者の尊厳と自立に向けたケア、アクティビティ・サービスとその効果、自施設の実践事例から利用者の生活と施設サービスの現状について考える ②アクティビティ・サービスの支援の基本、環境、プログラム、自施設の日常生活場面における介護サービスやプログラムの分析 ③アクティビティ・サービスとチームワーク、アクティビティ・サービスに対応したプログラムの再編成 を講義と演習を通して学んだ。

テキストに「アクティビティ・サービス～日常生活援助の実践的アプローチ」を使用。

人 数：参加者 24名、延べ69名(①24名 ②23名 ③22名)

うち5名がアクティビティ・ワーカーとして登録

(12) リスクマネジメント研修 全3回 (I・II・III・IV)

日 時：①12月18日(水) ②1月15日(水) ③2月27日(木) 18:30~20:30

会 場：町田商工会議所 2階 会議室

対 象：町田市内介護保険事業所管理者、職員、他

講 師：貝塚誠一郎氏(貝塚ケアサービス研究所 所長)

内 容：①「事故を未然に防ぐためのケアの工夫と注意点」をテーマに、福祉・介護従事者に必要なリスク意識、現場のリスクの気づきと改善のポイント(食事・食事介助)を講義と演習を通して学んだ。②「ヒヤリはっと(事故報告書)の書き方と活用」をテーマに、ヒヤリ・はっとの基本と理解、ヒヤリ・はっと報告書の作成を講義と演習を通して学んだ。③「苦情・クレーム対応のポイントと苦情」をテーマに、福祉・介護現場における苦情・クレーム、苦情・クレームの対応の基本、苦情(クレーム)にならない対応を講義と演習を通して学んだ。

人 数：97名(①45名 ②28名 ③24名)

(13) ケアプラン作成研修（主任ケアマネジャー研修） （Ⅲ）

日 時：10月1日（火） 18：30～20：45

会 場：町田市健康福祉会館 4階 講習室

対 象：町田市内主任介護支援専門員

講 師：高岡里佳氏（医療法人財団緑秀会 田無病院 医療福祉連携部 部長）

内 容：町田市介護保険課との共催。①介護保険課による「町田市ケアマネジャー応援事業」事業説明 ②「主任介護支援専門員の役割～町田市ケアマネジャー応援事業に取り組もう～」をテーマとした基調講演により、主任介護支援専門員の役割や期待、東京都からの提言、西東京市の取り組み事例の紹介等を学んだ。

人 数：59名

<就労定着支援事業>

(1) 精神保健講座（介護者のメンタルケア） （Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）

日 時：6月18日（火） 18：30～20：30

会 場：町田商工会議所 2階 会議室

対 象：町田市内介護保険事業所職員、他

講 師：山下則子氏（ピア&セルフカウンセリング研究所 代表）

内 容：①介護従事者の現状、介護職の特殊性、介護職特有のストレス、ストレスを知り、自覚する。②セルフストレス・チェック、身体的健康、精神的健康、社会的健康の視点を持ち、セルフケアする。③イキイキと、あなたらしく働くために、自信と誇りが持てる職場、自分も周りの人もイキイキと、生きがいや達成感を感じて働くには を講義と演習を通して学んだ。

人 数：34名

(2) 労務管理研修 （Ⅱ・Ⅳ）

日 時：1月22日（水） 18：30～20：30

会 場：町田商工会議所 2階 会議室

対 象：町田市内介護保険事業所管理者、総務・人事担当者、関心のある方、他

講 師：望月 由佳氏（特定社会保険労務士、社会保険労務士望月由佳事務所 代表）

内 容：「労働法令の改正ポイントと雇用契約の重要事項を確認しよう～2014年度の雇用契約・労働条件の整備に向けて～」をテーマに、①労働契約法改正のポイントとその他の重要事項について（有期労働契約の新しいルール、有期労働契約締結（更新）時の労働条件の明示） ②高年齢者雇用安定法改正のポイントと運用について ③これから取り組むべき労務管理のポイント（労働条件の整備について、就業規則について、労働条件を伝えるときのポイント）を学んだ。

人 数：18名

<ネットワーク促進事業>

(1) 理事会 3回

日 時：①5月21日（火） ②9月12日（木） ③2月18日（火） 15：00～17：00

会 場：町田市民フォーラム 4階 行政会議室

内 容：①2012年度監査、2012年度事業報告書（案）、決算報告書（案）、理事の選任（案）について ②介護職員初任者研修事業（案）、定款の変更（案）等について ③2013年度事業計画書（案）、予算書（案）、理事の選任（案）について 他

(2) 運営委員会 2回

日時：①5月27日(月) ②2月18日(火) 10:00~12:00

会場：町田市民フォーラム 4階 行政会議室

内容：①町田市介護人材開発センター2012年度事業報告書(案)、決算報告書(案)について
②町田市介護人材開発センター2013年度事業計画書(案)、予算書(案)、について
①②各関係団体の活動状況、町田市介護人材開発センター事業への意見聴取 他

(3) 会員総会 3回

日時：①6月27日(木) ②10月24日(木) ③3月24日(月) 14:00~16:00

会場：①町田市民フォーラム 4階 社協活動室 ②③同、行政会議室

内容：①2012年度監査、2012年度事業報告書(案)、決算報告書(案)、理事の選任(案)について ②介護職員初任者研修事業(案)、定款の変更(案)等について ③2013年度事業計画書(案)、予算書(案)、理事の選任(案)について 他の承認を行った。
①③町田市行政報告を総会前に行った。

(4) ホームページ、会員・研修履歴管理システムの管理・運用

内容：松本郡時氏に委託し、ホームページの更新、及びAccessを利用した会員事業所管理、研修履歴管理システムの作成を行った。

(5) 町田市介護人材開発センター役員会 4回

日時：①6月13日(木) 13:00~14:30 ②8月20日(火) 10:00~12:00

③10月17日(木) 13:00~15:00 ④1月29日(水) 10:00~12:00

会場：①③④町田市民フォーラム 4階 行政会議室 ②同、社協活動室B

内容：①2013年度事業計画と運営方針について、会員を取り巻く状況と今後の対応について、情報交換 ②アクティブ福祉 in 町田13の実施について、2014年度事業計画についてと今後の展開について、介護職員初任者研修事業への取り組みについて、2013年度後期の事業活動について ③アクティブ福祉 in 町田13の実施について、介護職員初任者研修事業への進捗状況、2014年度事業について ④2013年度の実施状況、介護職員初任者研修事業の進捗状況、2014年度事業計画について、公益社団法人化について

(6) 施設部会 4回

日時：①5月8日 ②7月10日 ③9月11日 ④2月12日 いずれも水曜日 14:00~16:30

会場：①②④社会福祉法人賛育会 第二清風園 ③社会福祉法人天寿園会 椿

内容：①町田市行政報告、ハローワーク町田、町田商工会議所、町田市消防署等からの情報提供、②2012年度の事業報告、市内関係団体協議会・委員会などの報告、2013年度事業計画、介護職員の確保育成方法の現況と取組みについて、各施設の現状について、人材確保、人材育成、リーダー育成、施設見学、交換研修について等について意見交換、③東社協高齢者施設福祉部会南多摩ブロック会との連携について

(7) 在宅部会・町田市通所事業所連絡会(検討会・ブロック会・設立総会)

日時：検討会 ①8月15日(木) ②9月24日(火) ③10月21日(月) ④11月26日(火)

⑤12月12日(木) ⑥2月5日(水) 18:30~20:00

ブロック会 ①南地区：10月8日(火) ②北東部：10月10日(木)

③中央地区：10月15日(火) ④北西部：10月18日(金)

18:30~20:00

設立総会 3月11日(火) 18:30~20:30

会場: 検討会 社会福祉法人福音会 まちだケアセンター

ブロック会 ①社会福祉法人芙蓉会 ②社会福祉法人賛育会

③社会福祉法人町田市福祉サービス協会 ④社会福祉法人竹清会

設立総会 町田市健康福祉会館 4階 講習室

内容: <<検討会>>町田市通所事業所連絡会設立に向けて、その在り方などを検討した。

<<ブロック会>>各地区で情報交換会を開催した。

<<設立総会>>町田市通所事業所連絡会規約(案)、初年度役員の選任及び会長の選任、2014年度事業計画(案)の審議と承認、町田市介護保険課からの行政報告、会員意見交換会を行った。

(8) 交流会

日時: ①11月13日(水) ②1月27日(月) 18:30~20:30

会場: ①②ホテル ザ・エルシィ町田 地下2階 翡翠の間

内容: ①アクティブ福祉 in 町田' 13参加者の交流、各賞受賞の発表

②「新春の集い」として、町田市長と町田市内介護保険事業者、関係団体、議員との懇談、懇親を行った。

<町田市高齢者福祉研究大会・アクティブ福祉 in 町田' 13>

日時: 1月13日(水) 13:00~18:00

会場: 町田市文化交流センター 5・6階

対象: 市内介護保険事業所に勤務している職員、学生、市職員、家族、高齢者福祉に関心のある方、他

内容: ①介護施設、地域福祉現場、養成校学生の実践、研究23題を発表し、町田市長賞、審査員賞、福祉教育奨励賞を選考 ②介護用品・福祉用具等展示コーナーに12社が出展

人数: 515名(職員197名、学校関係者228名、市民他18名、行政関係者37名、

審査員3名、事業者29名、スタッフ3名)

<介護職員初任者研修事業>

(1) ホームヘルパー2級の廃止に伴う有資格介護職員の確保を目的に、2014年度事業開始に向けた検討、準備を行った。

(2) 研修会場は会員施設の協力をいただくこととなり、講師は、会員施設職員及び東京都介護福祉士会、町田社会福祉士会、町田市介護人材開発センター研修を担当している講師陣の協力をいただくことになった。

(3) 2013年12月14日に、講師内打ち合わせを実施し、事業の枠組みの共有化を図った。

(4) 東京都福祉保健局開催の説明会に参加し、次年度開催に向けて準備への取り組みを開始した。

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

第6回 会員総会

第2号議案

2013年度 決算報告書（案）

2013年度町田市介護人材開発センター収支決算書(総括表)(案)

自:2013年4月1日 至:2014年3月31日

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

《収入の部》

大区分	中区分	予算額	決算額	差額	備考
町田市補助金収入		12,664,000	12,664,000	0	
事業収入	参加費収入	3,687,000	3,546,500	140,500	就活フェア、研修、交流会などの参加費
	資料頒布収入	100,000	95,000	5,000	アクティブ福祉in町田13参加費(当日冊子代)
	広告料収入	75,000	75,000	0	アクティブ福祉in町田13当日冊子への掲載
その他の収入	正会費負担収入	1,700,000	1,629,700	70,300	正会員数:292事業所
	賛助会員会費収入		14,000	-14,000	賛助会員数:1団体、個人9名
	寄付金収入	0	0	0	
	受取利息収入	0	1,290	-1,290	
収入計①		18,226,000	18,025,490	200,510	

《支出の部》

大区分	中区分	予算額	決算額	差額	備考
管理費支出			91,726	-91,726	役員報酬等
事業費支出		18,226,000	15,992,223	2,233,777	
	人材発掘事業費	2,843,350	2,221,837	621,513	就活フェア、介護技術講習会、ようこそ先輩等
	人材育成事業費	9,005,955	7,626,877	1,379,078	研修
	就労支援事業費	752,160	595,474	156,686	メンタルヘルス・労務管理研修
	センター推進事業費	1,945,201	2,561,839	-616,638	ネットワーク経費、交流会飲食代
	アクティブ福祉	3,679,334	2,986,196	693,138	
支出計②		18,226,000	16,083,949	2,142,051	
予備費③			0	0	
固定資産取得支出④			505,114	-505,114	共有ハードディスク、プロジェクター、ワイヤレスプリンター・マイク
当期収支差額 ①-(②+③+④)		0	1,436,427	-1,436,427	
前期繰越金			993,999	-993,999	
次期繰越金			2,430,426	-2,430,426	

※参考(事務局経費)

	予算額	決算額	差額	備考
人件費	10,000,000	9,125,703	874,297	常勤2名、非常勤1名(週4日1名→11月から週3日1名)
経費	4,776,836	3,157,294	1,619,542	
合計	14,776,836	12,282,997	2,493,839	

正味財産増減計算書

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク
 事業名：事業全体

（単位： 円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
受取会費	1,643,700	1,618,875	24,825
正会員受取会費	1,629,700	1,610,875	18,825
賛助会員受取会費	14,000	8,000	6,000
事業収益	3,716,500	2,563,405	1,153,095
参加費収益	3,716,500	2,563,405	1,153,095
受取補助金等	12,664,000	12,664,400	△400
受取地方公共団体補助金	12,664,000	12,664,400	△400
受取寄付金	0	1,658,315	△1,658,315
受取寄付金		1,658,315	△1,658,315
雑収益	1,290	887	403
受取利息	1,290	887	403
經常収益計	18,025,490	18,505,882	△480,392
經常費用			
事業費	14,047,304	15,009,804	△962,500
給料手当	7,848,137	4,894,070	2,954,067
厚生費	27,868		27,868
旅費交通費	88,470	77,330	11,140
通信運搬費	808,022	827,077	△19,055
消耗什器備品費	62,960	144,560	△81,600
消耗品費	231,872	589,236	△357,364
広告宣伝費		98,700	△98,700
印刷製本費	737,195	1,468,360	△731,165
光熱水本料費	17,753	14,231	3,522
貸会场借上料	350,280	419,790	△69,510
会諸租税法諸租	447,205	1,050,065	△602,860
定税公利課費	1,641,745	2,468,417	△826,672
福利費		700	△700
車委託	1,249,698	323,342	926,356
雑費	403,752	446,515	△42,763
管理費	120,000	2,174,721	△2,054,721
役員報酬	12,347	12,690	△343
福利厚生費	2,190,389	2,502,079	△311,690
旅費交通費	91,726	1,008,000	△916,274
通信運搬費		46,360	△46,360
減価償却費	1,165,909	282,271	883,638
消耗什器備品費	8,070	710	7,360
消耗品費	118,720	1,450	117,270
広告製本費	153,744		153,744
印刷製本費		27,480	△27,480
光熱水本料費	957	12,920	△11,963
貸会场借上料	182,145	85,175	△96,970
会諸租税法諸租	118,440		118,440
定税公利課費	8,715	19,200	△10,485
福利費		281,083	△281,083
管理費	115,300	61,800	53,500
役員報酬	226,663	675,630	△448,967
經常費用計	16,237,693	17,511,883	△1,274,190
評価損益等調整前当期經常増減額	1,787,797	993,999	793,798
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	1,787,797	993,999	793,798

正味財産増減計算書

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

事業名：事業全体

（単位： 円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
経 常 外 増 減 の 部			
経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	1,787,797	993,999	793,798
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	993,999	0	993,999
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	2,781,796	993,999	1,787,797
Ⅱ 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	2,781,796	993,999	1,787,797

貸 借 対 照 表

平成 26 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現 金 預 金	3,022,568	2,039,040	983,528
現 普 通 預 金	16,895	4,598	12,297
未 前 払 収 金	3,005,673	2,034,442	971,231
未 前 払 金	50,400	29,500	△29,500
流 動 資 産 合 計	3,072,968	2,068,540	1,004,428
固 定 資 産			
そ の 他 固 定 資 産			
什 器 備 品	351,370		351,370
そ の 他 固 定 資 産 合 計	351,370	0	351,370
固 定 資 産 合 計	351,370	0	351,370
資 産 合 計	3,424,338	2,068,540	1,355,798
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未 前 払 受 金	546,431	1,021,263	△474,832
未 前 受 取 金	35,000		35,000
預 り 金	61,111	53,278	7,833
流 動 負 債 合 計	642,542	1,074,541	△431,999
負 債 合 計	642,542	1,074,541	△431,999
III 正 味 財 産 の 部			
一 般 正 味 財 産	2,781,796	993,999	1,787,797
正 味 財 産 合 計	2,781,796	993,999	1,787,797
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	3,424,338	2,068,540	1,355,798

財 産 目 録

平成 26 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

事業名：事業全体

(単位： 円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	16,895
普通預金	ゆうちょ銀行	運転資金として	3,005,673
未収金	会費の未収分	会費の未収分	
前払金	次年度会場借上げ	会場借上げ前払分	50,400
流動資産合計			3,072,968
(固定資産)			
その他固定資産	什器備品	システムサーバー他 管理業務で使用している	351,370
固定資産合計			351,370
資産合計			3,424,338
(流動負債)			
未払金	給料、通信未払分	3月分経費の未払分	546,431
前受金	次年度会費収入	センター推進事業で使用している	35,000
預り金	源泉所得税預金	源泉所得税、社会保険料納付分	61,111
流動負債合計			642,542
負債合計			642,542
正味財産			2,781,796

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク
事業名：事業全体

1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法によっている。
無形固定資産 定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

固定資産の減価償却について、今年度より実施する。

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

第6回 会員総会


第3号議案

2013年度 監事監査報告（案）

2013年度監査報告書

2014年 5月 28日

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク
理事長 是枝 祥子 殿

監事 矢沢 俊介 

監事 谷 和久 

1. 監査の実施概要

定款第25条に基づき、一般社団法人町田市介護サービスネットワークの2013年度（監査対象期間、2013年4月1日～2014年3月31日）の会計の状況について監査を行いました。

監査日時 2014年 5月 28日 13:30～15:00

監査場所 町田市民フォーラム4階 行政会議室

2. 監査意見

収支決算書、貸借対照表、及び関係書類について監査した結果、その内容は適正であると認めます。

以上の通り報告致します。

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

第6回 会員総会

第4号議案

理事の変更について（案）

第4号議案 理事等の変更について

1. 市川常雄理事の辞任に伴う新理事の承認

新理事： 北澤 英明（きたざわ ひであき）
町田市いきいき健康部長

<議案説明>

- (1) 市川常雄理事が、2014年4月1日をもって町田市いきいき健康部長から町田市政策経営部長に就任されました。町田市役所職員の理事就任は、町田市の外郭団体としての要件にあたります。後任理事候補として、町田市いきいき健康部長に就任された北澤英明部長のご推薦を頂きました。理事の承認は、会員総会の決議事項にあたります。
- (2) 任期：2014年6月24日～2016年6月会員総会までの残任期間

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

第6回 会員総会

第5号議案

役員の報酬等及び費用に関する規程（案）

第5号議案 役員の報酬等及び費用に関する規程（案）

<議案説明>

- (1) 代表理事に講師謝礼をお支払いしていましたが、代表理事には役員報酬のみを毎月定額で支給するように税理士事務所からの指導がありました。このたびの公益法人認定申請準備にあたり、定款を含む諸規程の見直しをしており、役員の報酬等及び費用に関しても定款に添った規程の整備、運用を諮るべく第5号議案として提出します。
- (2) 定款第14条により、本規程（案）は、会員総会の決議事項に該当します。

定款

第14条 会員総会は、次の事項について決議する。(以下一部抜粋)

(3) 理事及び監事の報酬等の額またはその規定

第28条 理事及び監事は無報酬とする。ただし、常勤の理事及び監事に対しては、会員総会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、会員総会の決議を経て報酬、賞与その他の職務執行の対価として当法人から受けた財産上の利益（以下、「報酬等」という。）として支給することができる。

一般社団法人町田市介護サービスネットワークの役員の報酬等及び費用に関する規程 (案)

(目的)

第1条 この規程は、一般社団法人町田市介護サービスネットワーク（以下、「法人」という。）の定款第22条、第28条の規定に基づき、役員の報酬等及び費用に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(意義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員とは、理事及び監事をいう。
- (2) 常勤役員とは、会員総会で選任された役員のうち、法人を主たる勤務場所とし、週3日以上出勤する者をいう。
- (3) 非常勤役員とは、常勤役員以外の役員をいう。
- (4) 報酬等とは、職務遂行の対価として受ける財産上の利益をいう。
- (5) 費用とは、職務の遂行に伴い発生する旅費（宿泊費含む）、交通費等の経費をいう。

(報酬の支給)

第3条 法人は、役員の職務遂行の対価として報酬を支給することができる。常勤役員の報酬は別表1に定めるところによる。

- 2 前項の報酬等は、役員等のうち、町田市職員の身分を有する者及び法人職員の身分を有するものには支給しない。

(報酬等の支給方法及び支給日)

第4条 常勤役員には、その職に就いた当月分から、報酬等を支給する。

- 2 常勤役員の報酬等の支給方法は、口座振込とする。支給日については、毎月25日とする。ただし支給日が土曜日、日曜日又は国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）にあたるときは、その日の前のその日に最も近い休日でない日を支給日とする。
- 3 報酬等は、通貨をもって本人に支給する。ただし、本人の指定する本人名義の金融機関口座に振り込むことができる。
- 4 報酬等は、法令に定めるところにより控除すべき金額及び本人から申出のあった立替金、積立金等を控除して支給する。

(就任又は退任時の報酬)

第5条 常勤役員が月の初日以外の日において、新たに選任されたときは、その当月分からの報酬等を支給する。

- 2 常勤役員が退職又は死亡したときは、その当月分までの報酬等を支給する。

(費用の弁償)

- 第6条 法人は、役員がその職務を行うために要する費用を弁償することができる。ただし、町田市職員の身分を有する者及び法人職員の身分を有する者には支給しない。
- 2 費用の弁償の額は実費とし、役員は証拠書類を添付して請求しなければならない。
 - 3 費用の弁償の請求があったときは、遅滞なく現金で支払うものとする。ただし、本人の指定する本人名義の金融機関口座に振り込むことができる。
 - 4 非常勤役員が法人の業務上の必要により、法人の開催する会議等に出席する場合は、別表2「費用の額」に定める金額の範囲内において支給する。

(改廃)

- 第7条 この規程の改廃は、定款第14条の規定に基づき、会員総会の決議を経て行う。

(補則)

- 第8条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事長が理事会の承認を得て、別に定めるものとする。

附 則

- 1 この規程は、2014年6月23日から施行する。この規程の実施により、2012年4月11日に制定した役員報酬規程は廃止する。

別表1 役員の報酬の額

区分	報酬月額（1人あたり）	年度総額（1人あたり）
常勤役員	30,000円	360,000円

別表2 費用の額（交通費を含む）

区分	費用の額
非常勤役員	1回 2,000円